
タイトル…汐製菓会社の新作 34 ビスケットー

登場人物

- ・ 汐（30代、男性）…汐製菓会社社長。
「面白きことも無き世を面白く」をモットーに、次々に奇抜な菓子商品を発案する。快活で、自由奔放な性格。
- ・ 塩田（30代、女性）…汐の秘書。真面目で心配性。いつも汐の突飛なアイデアに振り回されているが、実は大のスイーツ好き。
- ・ マーケティング担当者（40代、男性）…汐製菓のマーケティング担当。国内外の市場調査を行い、顧客の声を集める。

・ 国内外のお客さんたち…試食品を試食
する、様々な国籍の人々。

シーン② 汐のオフィス

（オフィスの大きなデスク。汐は熱心にメモを取っている。塩田はデスクの前で、報告書を読みながら頭を抱えている。）

汐 「できた！これしかない！次の新商品は、完璧だ！」

塩田 「社長、また奇妙なアイデアですか？『わさびチヨコレート』が失敗したばかりですよね？」

汐 「今回は大丈夫だ！聞いて驚け、『バニラアイス味のビスケット』だ！」

塩田 「……バニラアイス味、ですか？ビスケットで？」

（塩田は困惑して眉をひそめる。）

汐 「そう！みんなアイスは好きだろ？でも溶けるのが困る。だからビスケットでその味を楽しめるようにしたんだ！」

塩田 「斬新すぎますけど……これ、本当に売れますかね？」

（汐は自信満々に笑いながら、書類を塩田に手渡す。）

汐 「もちろんさ！すぐに試作品を作らせて、試食会を開こう。国内外のお客さんたちに試してもらって、反応を見てみようじゃないか！」

（塩田は深いため息をつき、メモを取りながら、汐の提案に従う。）

シーン② 試作品開発のプロセス

（汐製菓の試作部屋。研究員たちが忙しく動き回り、ビスケットの試作品を作っている。

塩田が状況をチェックしに来る。）

塩田 「どうですか？ビスケットの進捗は。」

研究員A 「難航してますね……バニラアイスの風味をビスケットに閉じ込めるのが、なかなか難しいんです。」

塩田 「うーん、やっぱり無理があるんじゃない？」

……。

研究員B 「でも、少しずつ形になってきてますよ。食感と風味のバランスが重要ですね。」

（塩田がビスケットのサンプルを手に取り、恐る恐る一口かじる。）

塩田 「……意外と、悪くないかも？」

研究員A 「甘さとバニラの香りがうまクマッチしていますよね。ただ、食感がもう少しクリ

スピーになれば、もっと良くなると思います。」

塩田 「分かりました。もう少し改良して、試食会に間に合わせましょう。」

（塩田は報告書にメモを取りながら、工場を後にする。）

シーン⑤ 試食会の準備

（試食会場では、豪華な装飾が施され、ビスケットのサンプルが並べられている。汐と塩田、そしてマーケティング担当者が準備を進める。）

汐 「よし！準備は整ったな。あとはお客さんたちの反応を楽しむだけだ。」

塩田 「社長、もし今回も失敗したら……。」

汐 「失敗なんてありえない！これは大成功間違いなしだ！」

（塩田は心配そうに頷き、試食会場に招待された国内外のお客さんたちが次々に入場してくる。）

マーケティング担当者 「本日はお集まりいただきありがとうございます。汐製菓の新商品『バニラアイス味のビスケット』をお楽しみくださいー！」

シーン④ 試食会のリアクション

（お客さんたちがビスケットを手に取り、恐る恐る一口かじる。数秒後、様々なリアクションが飛び交う。）

国内のお客さん① 「おお、これ結構いけるじゃん！最初は変わってると思ったけど、後味がすつきりしていいね。」

国内のお客さんB「サクサクしててバニラの香りも良い感じ。普通のビスケットよりも新鮮でいい。」

外国のお客さんA（ヨーロッパ系）

「これ、クリーミーで美味しいよ。アイスの風味がしっかりしてるのがいいね。」

外国のお客さんB（アメリカ系）

「わお、こんなの初めて！アイスが溶けないのに味はそのままって、不思議だ！」

外国のお客さんC（アジア系）

「甘さがちょうどよくて、すごく美味しいです。家族にも食べさせたい！」

（汐はお客さんたちのリアクションを満足げに見つめるが、塩田はまだ心配そうな顔をしている。）

シーン5: マーケティング会議

（試食会の後、汐、塩田、マーケティング担当者が会議室に集まって結果を話し合っている。）

マーケティング担当者 「今回の試食会、全体的にかなり良い反応でした。特に外国のお客様さんからの評判が高かったですね。」

汐 「ほら見ろ！やっぱり大成功だろ？」

塩田 「でも、国内のお客様さんの反応はもう少し様子を見る必要があるかもしれない。」

マーケティング担当者 「確かに。国内市場は少し保守的などころがありますからね。ただ、若い世代にはウケが良さそうです。」

汐 「それなら、若者向けにもっとプロモーションを強化しよう。SNSで話題になれば、一気に広まるはずだ！」

塩田 「社長、また突飛なアイデアを……でも、今回は成功するかも。」

（塩田は少し微笑みながら、次のステップについて考え始める。）

シーン⑨：国内外でのプロモーション

（SNS キャンペーンや海外向けの広告が次々と展開されているシーン。若者たちが『バニラアイス味のビスケット』を手に写真を撮り、投稿している。）

SNS ユーザーA 「これ、めっちゃ美味しい！みんなも試してみて！」

SNS ユーザーB 「バニラアイス味のビスケットとか新しい〜！」

（同時に、海外のマーケットでも商品が並び、現地の人々が手に取って購入している。）

外国のお客さんロ（南米系）

「お土産にちょうどいいね。日本の友達も喜びそう。」

外国のお客さんロ（ヨーロッパ系）

「クリーミーで美味しい。日本の菓子は本当に独創的だ！」

シーン⑧ 新商品開発のアイデア出し

（汐製菓のオフィスで、汐と塩田、マーケティング担当者が次の新商品のアイデアを出し合っている。）

汐 「さあ、次はどんな商品を作ろうかな？

もうすぐ春だし、春にぴったりなスイーツがいな！」

塩田 「春ですか？桜の季節に合わせた商品ははどうでしょうか？桜味のビスケットとか。」

マーケティング担当者 「桜はいいアイデアですね。でも、もっとインパクトのある商品がいいかもしれません。たとえば、エキゾチックなフレーバーとか。」

汐 「なるほど！エキゾチックなフレーバーか……。例えば、ココナッツとマンゴーのビスケットとかどうだ？」

塩田 「それも面白いですが、ちょっと冒険すぎるかもしれません。」

マーケティング担当者 「お客さんたちが新しいものを試すのは面白いですが、失敗するリスクもありますよね。」

汐 「それはその通りだ。でも、失敗を恐れていては面白いものは作れないさ！じゃあ、春に合わせて桜味のビスケットを作るついでに、マンゴー味のビスケットも作ってみよう！」

塩田 「ええ、分かりました。取り敢えず、試作品を作ってみます。」

（汐が嬉しそうにメモを取り、塩田が試作チームに指示を出すシーン。）

シーン⑥ 国内外のマーケット調査

（汐製菓の試作部屋で、桜味とマンゴー味のビスケットの試作品が完成し、再び試食会を開く準備が進められている。）

塩田 「今回は桜味とマンゴー味のビスケットです。どちらが人気が出るか楽しみですね。」

汐 「試食会を開けば、必ずや興味深い結果が出るはずだ！」

マーケティング担当者 「今回は、国内外のマーケット調査も含めて、リアクションをしっかりと記録しましょう。」

（試食会が開かれ、国内外のお客さんたちが
新商品のビスケットを試食している。）

国内のお客さん〇 「桜味のビスケット、ほん
のり桜の香りがしてとても美味しい！春を感
じる味ですね。」

国内のお客さんロ 「マンゴー味もいいけど、
少し甘すぎるかな。でも、トロピカルな感じが
面白い！」

外国のお客さんコ（ヨーロッパ系）
「桜の味わいが繊細で、非常に上品。素晴ら
しいアイデアです！」

外国のお客さんク（アメリカ系）
「マンゴー味、リッチで美味しいけど、桜味の
方が心に残りますね。」

外国のお客さんエ（アジア系）
「桜味のビスケットは、日本の風味が楽しめ
て、マンゴー味は南国の香りがして楽しい！」

シーン10: 新商品の販売戦略

(汐製菓の会議室で、マーケティング戦略のミーティングが行われている。)

汐 「桜味が大人気だったな。次は、桜味をメインにプロモーションを進めよう！」

塩田 「はい、桜のシーズンに合わせて、特別なパッケージデザインやキャンペーンを計画します。」

マーケティング担当者 「国内外の市場に向けたマーケティングも強化します。桜のビスケットは、日本の春を象徴する商品として、観光客にもアピールできるでしょう。」

汐 「素晴らしい！じゃあ、次の大成功を目指して頑張ろう！」

（会議室の外では、スタッフたちがプロモーション資料やパッケージデザインの準備を進める。）

シーン11: さまざまなメディアでの反響

（桜味のビスケットが発売され、メディアやSNSで話題になっているシーン。テレビ番組やブログでのレビュー、ネットニュースのヘッドラインなどが映し出される。）

ニュースキャスター「汐製菓の新作桜味ビスケットが話題に！春の味わいが感じられると、多くの人々が絶賛しています。」

ブロガー「桜の風味が本当に自然で、まるで春の中にいるような気分になります。ぜひ皆さんも試してみてください！」

SNSユーザーの「桜味のビスケット、美味しい！日本の春を感じることができて、最高です！」

SNSユーザーD「マンゴー味もすごく美味しいけど、桜味の方が心に残りますね。ぜひ食べてみて！」

（汐と塩田がその反響を見ながら喜ぶシーン。）

汐「またしても大成功だ！桜味のビスケット、国内外で好評だな！」

塩田「社長、次はどんな奇抜なアイデアを考えているんですか？」

汐「次は……バニラアイスと合わせた、チョコレートビスケットとかどうだろうか？」

（塩田が驚きつつも、笑顔で返す。）

塩田 「また新しい挑戦ですね。楽しみにしています。」

シーン12: 未来への展望

(汐製菓のオフィスで、社員たちが集まり、成功を祝うパーティーが開かれている。汐と塩田、スタッフたちが笑顔で乾杯している。)

汐 「皆さんのおかげで、また一つ素晴らしい商品を世に送り出すことができました。これからも面白くて美味しいお菓子を作り続けていきましょー！」

塩田 「社長のアイデアにはいつも驚かされませんが、これからも一緒に頑張っていましょー。」

マーケティング担当者 「次の挑戦が楽しみです。皆さんの努力が形になって、素晴らしい結果を生み出しました。」

（音楽が流れ、社員たちが笑顔で盛り上がる中、汐が次のアイデアに向けて新たな計画を練る。）

汐 「次はもっと面白いアイデアを思いつこう。何か素晴らしいスイーツを作り出してみせろさ！」

（パーティーが続き、カメラがフェードアウトしていく。）

エンディング

ナレーター（穏やかな声で） 「汐製菓の挑戦は続きます。創造性とユーモアを持って、これからも新しいスイーツを皆様にお届けするにとでしよう。どうぞお楽しみに。」

（エンディング音楽が流れ、クレジットが表示される。）